

令和2年度 病害虫発生予察情報

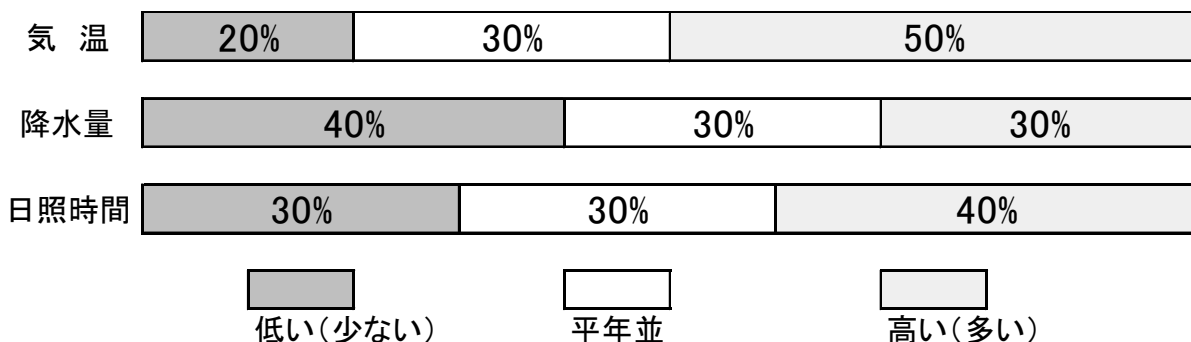
発生予報第8号（10月）

令和2年10月6日
島根県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	やや多い
野菜	キャベツ	黒腐病	やや多い
		菌核病	やや少ない
	アブラナ科野菜	コナガ ハスモンヨトウ	平年並～やや多い 多い

中国地方1か月予報（10月3日～11月2日・広島地方気象台10月1日発表）
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）＞



A. 果樹

1) カキ

(1) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 やや多い

予報の根拠

① 9月第1半旬から10月第1半旬までの予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は520頭（平年237.8頭）とやや多い。

② 10月上旬の巡回調査での累積被害果率は、0.6%（平年3.4%）と平年に比べて少ない。

③ 10月の気象は、本種の発生を特に抑制する要因とはならない。

注）令和2年度 病害虫発生予察情報 注意報 第2号 参照。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや多い

予報の根拠

① 9月下旬の巡回調査では、発生ほ場率が8.7%（平年発生ほ場率 1.3%）と発生量は平年に比べてやや多い。

② ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生は、多いと予想されている。

③ 10月の気象は、本病の発生を特に抑制する要因とはならない。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① 9月下旬の巡回調査では、発生は確認されておらず（平年発生ほ場率2.3%）、発生量は平年に比べてやや少ない。
- ② 10月の気象は、本病の発生を助長する要因とはならない。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 9月下旬の巡回調査では、アブラナ科野菜での本種の発生ほ場率は9.1%（平年15.0%）、寄生株率は1.8%（平年1.9%）であり、発生量は平年並みである。
- ② 10月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 多い

予報の根拠

- ① 9月のフェロモントラップによる累積雄成虫誘殺数は、県東部で664頭（平年461.8頭）、県西部で1009頭（平年915.8頭）と平年並みである。
 - ② 9月下旬の巡回調査においてアブラナ科野菜での本種の発生ほ場率は72.7%（平年22.4%）、寄生株率は16.4%（平年3.2%）と多い。
 - ③ 10月の気象は、本種の発生を特に抑制する要因とはならない。
- 注) 令和2年度 病虫害発生予察情報 注意報 第4号 参照。

島根県病虫害防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

ホームページアドレス：

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/